

5. 学校教育系施設

(1) 学校

ア 施設概要

学校教育法（昭和22年法律第26号）第38条及び第49条の規定に基づく、小学校11校（湯沢地域5校、稲川地域4校、雄勝・皆瀬地域各1校）、中学校6校（湯沢地域3校、稲川・雄勝・皆瀬地域各1校）の計17校を設置しています。

施設No.	施設名称	所在地	地区	所管課
学1	湯沢東小学校	杉沢新所字八斗場33	弁天	教育総務課
学2	湯沢西小学校	字万石26	湯沢	
学3	山田小学校	山田字土生原52	山田	
学4	三関小学校	関口字堀量68	三関	
学5	須川小学校	相川字須川119-7	須川	
学6	稲庭小学校	稲庭町字琵琶倉24	稲庭	
学7	三梨小学校	三梨町字清水小屋244	三梨	
学8	川連小学校	川連町字道下86	川連	
学9	駒形小学校	駒形町字三又前田面47-4	駒形	
学10	雄勝小学校	横堀字板橋5	横堀	
学11	皆瀬小学校	皆瀬字下菅生27	皆瀬	
学12	湯沢北中学校	杉沢新所字八斗場33	弁天	
学13	湯沢南中学校	南台6-1	湯沢	
学14	山田中学校	山田字下館10	山田	
学15	稲川中学校	三梨町字間明田140	三梨	
学16	雄勝中学校	横堀字板橋5	横堀	
学17	皆瀬中学校	皆瀬字下菅生24-1	皆瀬	

イ 現状と課題

小中学校は、原則、夏季休業、冬季休業、春季休業、開校記念日、土曜日・日曜日・祝日を除き、毎日授業を実施しています。

学校の校舎・体育館は、耐震基準を満たしているものの、建設後一定の年数が経過し、老朽化が進んでいる校舎等があります。小中学校のトイレの洋式化率は市全体で約50%となっており、和式トイレの割合が高い学校については、年次計画により段階的に洋式化の改修を進めています。また、各小学校には25mプールを設置していますが、年間のプール使用日数は40日程度となっています。

学校施設の管理運営は直営で、主な支出内容は、光熱水費や修繕費となっています。学校の教職員と事務職員は県費負担職員で、用務職員は市職員です。

各学校とも義務小中学校としての授業で普通教室・特別教室・体育館を使用していますが、学校の運営に支障のない範囲で屋内体育館・グラウンド等の地域開放を行っています。

施設No.	施設名称	建築年	法定耐用年数	経過年数	延床面積(m ²)	運営形態	職員数		支出(千円)	収入(千円)	児童生徒数
							市職員	県職員			
学1	湯沢東小学校	H23	47	8	9,723	直営管理	正1, 非7	正27, 臨3	28,813	—	466
学2	湯沢西小学校	H19	47	11	9,274		正1, 非11	正25, 臨3	30,445	—	395
学3	山田小学校	S57	47	36	5,786		正1, 非3	正13, 非1, 臨1	24,564	—	127
学4	三関小学校	S60	47	34	4,557		正1, 非1	正8, 臨1	18,600	—	62
学5	須川小学校	S62	47	31	3,425		正1, 非2	正9, 臨1	22,894	—	57
学6	稲庭小学校	H2	47	29	3,514		正1, 非3	正7, 非3, 臨1	20,680	—	50
学7	三梨小学校	S60	47	33	3,246		正1, 非2	正7, 非2, 臨1	18,781	—	50
学8	川連小学校	H13	47	17	6,046		正1, 非1	正11, 非2	24,003	—	100

学9	駒形小学校	S59	47	34	3,867	直営 管理	正1,非1	正10,非2	18,167	—	68
学10	雄勝小学校	H27	47	4	4,023		正1,非8	正14,臨1	23,896	—	199
学11	皆瀬小学校	H17	47	13	4,835		再1	正13,非1	24,574	—	87
学12	湯沢北中学校	H23	47	8	8,907		正1,非3	正22,非3	28,950	—	219
学13	湯沢南中学校	S44	47	50	6,647		正1,非4	正26,非1,臨1	27,778	—	290
学14	山田中学校	S54	47	39	4,088		正1,非3	正13	21,427	—	49
学15	稲川中学校	S49	47	44	6,460		正1,非2	正20,非1,臨2	27,056	—	167
学16	雄勝中学校	S49	47	45	8,657		正1,非2	正15	27,529	—	121
学17	皆瀬中学校	S53	47	41	4,811		正1,非1	正10,非1	17,011	—	52

※児童生徒数は令和元年5月1日現在

※県職員の人件費は支出に含まない

学1 湯沢東小学校

湯沢北中学校と併設し、校舎は鉄筋コンクリート造4階建て、延床面積7,139㎡、体育館は鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建て、延床面積1,896㎡、その他プール管理棟(木造)など6施設、延床面積688㎡となっています。

校舎・体育館とも平成23年に新耐震基準で建設し、建築から8年経過しています。

児童数は平成17年合併時726人でしたが、令和元年には466人に減少し、令和7年には378人になると見込まれています。

普通教室20室(特別支援教室4室含む)、特別教室6室(図書室・音楽室・理科室・家庭科室・図工室・コンピュータ室)を使用し、人件費を含む管理運営費は28,813千円となっています。

学2 湯沢西小学校

校舎は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積7,409㎡、体育館は鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建て、延床面積1,617㎡、その他プール管理棟(木造)など3施設、延床面積248㎡となっています。

校舎・体育館とも平成19年に新耐震基準で建設し、建築から11年経過しています。

児童数は平成17年合併時685人でしたが、令和元年には395人に減少し、令和7年には364人になると見込まれています。

普通教室16室(特別支援教室4室含む)、特別教室7室(図書室・音楽室・理科室・家庭科室・図工室・コンピュータ室・生活科室)を使用し、人件費を含む管理運営費は30,445千円となっています。

学3 山田小学校

校舎は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積4,576㎡、体育館は鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建て、延床面積1,174㎡、その他プール専用付属室(木造)など2施設、延床面積36㎡となっています。

校舎・体育館とも昭和57年に新耐震基準で建設し、平成26年と平成27年に教室棟屋根防水工事、平成27年に体育館吊り天井落下防止対策工事、平成29年に体育館屋根防水改修工事、煙突石綿除去・暖房設備改修工事を実施していますが、建築から36年経過し老朽化が進んでいます。

児童数は、平成17年合併時251人でしたが、令和元年には127人に減少し、令和7年には97人になると見込まれています。

普通教室8室(特別支援教室2室含む)、特別教室7室(図書室・音楽室・理科室・家庭科室・図工室・コンピュータ室・生活科室)を使用し、人件費を含む管理運営費は24,564千円となっています。

学4 三関小学校

校舎は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積3,098㎡、体育館は鉄骨鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積1,031㎡、給食室は鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積372㎡、その他プール専用付属室(木造)など3施設、延床面積56㎡となっています。

校舎は昭和60年、体育館は昭和59年に新耐震基準で建設し、平成21年と26年に校舎屋根防水工事、平成27年に体育館吊り天井落下防止対策工事、平成29年に煙突更新工事、機械室・高架水槽室屋根防水改修工事を実施していますが、建築から34年経過し老朽化が進んでいます。

児童数は、平成17年合併時138人でしたが、令和元年には62人に減少し、令和7年には58人になると見込まれています。

普通教室7室(特別支援教室1室含む)、特別教室5室(図書室兼コンピュータ室・音楽室・理科室・家庭科室・図工室)を使用し、人件費を含む管理運営費は18,600千円となっています。

学5 須川小学校

校舎は鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積1,943㎡、体育館・給食室は鉄骨造平屋建て、延床面積1,332㎡、その他プール専用付属室(木造)など3施設、延床面積150㎡となっています。

校舎、体育館とも昭和62年に新耐震基準で建設し、建築から31年経過しています。平成27年に教室棟屋根防水改修工事、平成28年に体育館吊り天井落下防止対策工事、平成29年に体育館屋根塗装工事を実施しています。

児童数は、平成17年合併時148人でしたが、令和元年には57人に減少し、令和7年には35人になると見込まれています。

普通教室6室(特別支援教室1室含む)、特別教室4室(図書室兼コンピュータ室・音楽室・理科室兼図工室・家庭科室)を使用し、人件費を含む管理運営費は22,894千円となっています。

学6 稲庭小学校

校舎は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積2,590㎡、体育館は鉄骨造平屋建て、延床面積793㎡、その他プール付属室(木造)など2施設、延床面積131㎡となっています。

校舎、体育館とも平成2年に新耐震基準で建設し、建築から29年経過しています。平成19年に校舎屋根塗装工事、平成21年に校舎屋根修繕工事などを実施しています。

児童数は、平成17年合併時113人でしたが、令和元年には50人に減少し、令和7年には32人になると見込まれています。

普通教室6室(特別支援教室2室含む)、特別教室6室(図書室・音楽室・理科室・家庭科室・図工室・コンピュータ室)を使用し、人件費を含む管理運営費は20,680千円となっています。

学7 三梨小学校

校舎は鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積2,437㎡、体育館は鉄骨造平屋建て、延床面積722㎡、その他プール管理棟(木造)、延床面積87㎡となっています。

校舎、体育館とも昭和60年に新耐震基準で建設し、平成18年に校舎屋根塗装工事などを実施していますが、建築から33年経過し老朽化が進んでいます。

児童数は、平成17年合併時127人でしたが、令和元年には50人に減少し、令和7年には28人になると見込まれています。

普通教室5室、特別教室5室(音楽室・理科室・家庭科室・図工室・コンピュータ室)を使用し、人件費を含む管理運営費は18,781千円となっています。

学8 川連小学校

校舎は鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積4,568㎡、体育館は鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積1,321㎡、その他プール管理棟(鉄筋コンクリート造)など2施設、延床面積157㎡となっています。

校舎、体育館とも平成13年に新耐震基準で建設し、建築から17年経過しています。

児童数は、平成17年合併時218人でしたが、令和元年には100人に減少し、令和7年には81人になると見込まれています。

普通教室7室(特別支援教室1室含む)、特別教室6室(図書室・音楽室・理科室・家庭科室・図工室・コンピュータ室)を使用し、人件費を含む管理運営費は24,003千円となっています。

学9 駒形小学校

校舎は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積2,938㎡、体育館は鉄骨造平屋建て、延床面積825㎡、その他プール管理棟(木造)、延床面積104㎡となっています。

校舎は昭和59年(北校舎は平成18年)、体育館は平成3年に新耐震基準で建設し、建築から校舎は34年(北校舎を除く)、体育館は27年経過しています。平成17年に校舎床張替工事、平成20年に体育館屋根防水シート改修工事を実施しています。

児童数は、平成17年合併時123人でしたが、令和元年には68人に減少し、令和7年には47人になると見込まれています。

普通教室7室(特別支援教室1室含む)、特別教室7室(図書室・音楽室・理科室・家庭科室・図工室・コンピュータ室・生活科室)を使用し、人件費を含む管理運営費は18,167千円となっています。

学10 雄勝小学校

雄勝中学校に併設し、校舎は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積2,115㎡、体育館は鉄筋コンクリート2階建て、延床面積1,139㎡、その他プール専用付属施設(木造)など4施設、延床面積769㎡となっています。

校舎、体育館とも平成27年に新耐震基準で建設し、建築から4年経過しています。

児童数は、平成17年合併時414人でしたが、令和元年には199人に減少し、令和7年には131人になると見込まれています。

普通教室9室(特別支援教室2室含む)、特別教室6室(図書室・音楽室・理科室・家庭科室・図工室・コンピュータ室)を使用し、人件費を含む管理運営費は23,896千円となっています。

学11 皆瀬小学校

校舎は鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積3,034㎡、体育館は鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積1,412㎡、食堂は鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積234㎡、その他プール管理棟(鉄筋コンクリート造)など2施設、延床面積155㎡となっています。

校舎、屋内運動場ともに平成17年に新耐震基準で建設し、建築から13年経過しています。

児童数は、平成17年合併時159人でしたが、令和元年には87人に減少し、令和7年には54人になると見込まれています。

普通教室8室(特別支援教室2室含む)、特別教室6室(図書室・音楽室・理科室・家庭科室・図工室・コンピュータ室)を使用し、人件費を含む管理運営費は24,574千円となっています。

学12 湯沢北中学校

湯沢東小学校に併設し、校舎は鉄筋コンクリート造4階建て、延床面積6,064㎡、体育館は鉄骨鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積1,806㎡、武道場は鉄骨造平屋建て、延床面積1,024㎡、その他1施設、延床面積13㎡となっています。

校舎と武道場は平成23年、体育館は平成元年（平成19年318㎡増築）に新耐震基準で建設し、建築から校舎・武道場は8年経過、体育館は30年経過しています。平成28年に体育館の吊り天井落下防止対策工事を実施しています。

生徒数は、平成17年合併時388人でしたが、令和元年には219人に減少し、令和7年には228人になると見込まれています。

普通教室9室（特別支援教室2室含む）、特別教室10室（図書室・音楽室・調理室・被服室・美術室・技術室1・技術室2・理科室1・理科室2・コンピュータ室）を使用し、人件費を含む管理運営費は28,950千円となっています。

学13 湯沢南中学校

校舎は鉄筋コンクリート造4階建て、延床面積5,024㎡、体育館は鉄骨鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積1,472㎡、その他プール専用付属室など2施設、延床面積151㎡となっています。

校舎は昭和44年、体育館は昭和45年の旧耐震基準による建設で、校舎については平成26年に耐震補強工事及び大規模改修工事、体育館については平成22年に耐震補強工事、平成25年に大規模改修工事を実施し、耐震基準を満たしていますが、建築から校舎は50年、体育館は48年経過し老朽化が進んでいます。

生徒数は、平成17年合併時549人でしたが、令和元年には290人に減少し、令和7年には263人になると見込まれています。

普通教室12室（特別支援教室2室含む）、特別教室10室（図書室・音楽室1・音楽室2・調理室・被服室・美術室・技術室・理科室1・理科室2・コンピュータ室）を使用し、人件費を含む管理運営費は27,778千円となっています。

学14 山田中学校

校舎・食堂は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積2,978㎡、体育館は鉄骨鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積993㎡、その他プール専用付属室（木造）など3施設、延床面積117㎡となっています。

校舎・食堂は昭和54年、体育館は昭和55年に旧耐震基準で建設し、いずれも平成26年に耐震補強工事を実施し耐震基準を満たしていますが、建築から校舎は39年、体育館は38年経過し老朽化が進んでいます。平成29年に煙突更新工事、平成30年に図書室屋根改修工事を実施しています。

生徒数は、平成17年合併時123人でしたが、令和元年には49人に減少し、令和7年には57人になると見込まれています。

普通教室5室（特別支援教室2室含む）、特別教室8室（図書室・音楽室・調理室・被服室・美術室・技術室・理科室・コンピュータ室）を使用し、人件費を含む管理運営費は21,427千円となっています。

学15 稲川中学校

校舎は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積4,937㎡、体育館は鉄骨造2階建て、延床面積1,280㎡、その他プール付属屋（鉄骨造）など2施設、延床面積243㎡となっています。

校舎は昭和49年、体育館は昭和50年に旧耐震基準で建設し、いずれも平成16年に耐震補強工事及び大規模改修工事を実施し耐震基準を満たしていますが、建築から校舎は44年、体育館は43年経過して老朽化が進んでいます。平成29年に付帯設備（外部階段・外壁等）改修工事を実施しています。

生徒数は、平成17年合併時330人でしたが、令和元年には167人に減少し、令和7年には132人になると見込まれています。

普通教室7室（特別支援教室1室含む）、特別教室10室（図書室・音楽室・調理室・被服室・美術室・技術室1・技術室2・理科室1・理科室2・コンピュータ室）を使用し、人件費を含む管理運営費は27,056千円となっています。

学16 雄勝中学校

雄勝小学校に併設し、校舎は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積6,259㎡、体育館は鉄骨造2階建て、延床面積1,736㎡、武道場は鉄骨造平屋建て、延床面積514㎡、その他4施設、延床面積148㎡となっています。

校舎・体育館は昭和49年に、武道場（雄心館）は昭和55年に旧耐震基準で建設し、体育館は平成24年に、校舎は平成25年に、それぞれ耐震補強工事及び大規模改修工事を、また、武道場は平成26年に耐震補強工事を実施していますが、建築から、校舎と体育館は45年、武道場は38年経過して老朽化が進んでいます。

生徒数は、平成17年合併時241人でしたが、令和元年には121人に減少し、令和7年には79人になると見込まれています。

普通教室5室（特別支援教室1室含む）、特別教室9室（図書室・音楽室1・音楽室2・調理室・被服室・美術室・技術室・理科室・コンピュータ室）を使用し、人件費を含む管理運営費は27,529千円となっています。

学17 皆瀬中学校

校舎・食堂は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積3,562㎡、体育館は鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積914㎡、その他2施設、延床面積335㎡となっています。

校舎・食堂は、昭和53年に（一部は昭和43年）、体育館は昭和51年に旧耐震基準で建設し、体育館は平成16年に、校舎・食堂は平成17年に、いずれも耐震補強工事及び大規模改修工事实施し耐震基準を満たしていますが、建築から校舎・食堂は41年（一部51年）、体育館は43年経過し老朽化が進んでいます。なお、平成27年に体育館の吊り天井落下防止対策工事を実施しています。

生徒数は、平成17年合併時87人でしたが、令和元年には52人に減少し、令和7年には40人になると見込まれています。

普通教室3室、特別教室10室（図書室・音楽室・調理室・被服室・美術室・技術室1・技術室2・技術室3・理科室・コンピュータ室）を使用し、人件費を含む管理運営費は17,011千円となっています。

【現状と課題のまとめ】

学校規模について、国が定める基準（公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律）では、小・中学校とも12学級～18学級としています。また、小学校については、1学級あたりの児童数を、1年生は35人、2年生から6年生は40人、2つの学年の児童で編成する場合（複式学級）は16人（第一学年の児童を含む場合は8人）を標準としています。中学校につい

ては、1学級あたりの生徒数を、各学年40人、2つの学年の生徒で編成する場合(複式学級)は8人を標準としています。秋田県教育委員会でも、国と同様の水準にしています。

また、児童・生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましいとして、学校規模の適正化に関する基本的な考え方などをまとめた「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を国が公表し(平成27年1月)、学年単学級のメリット・デメリット、小規模校のメリット・デメリットなどを示しています。

湯沢市の小中学校は、一部の学校では学年で1学級という状況(単学級)にあり、少子化により今後も児童・生徒数の減少が確実視されるなかで、教育環境の向上や社会性の確保の観点から、子どもたちにとって望ましい学校のあり方について、将来を見据えた議論を進める必要があります。平成30年度には湯沢市学校教育環境適正化検討委員会から答申が提出され、令和元年度に学校再編計画を策定しています。

一方、学校は、コミュニティの拠点と言われていながら、市民や地域の利用は体育館・グラウンドを利用した地域開放事業がほとんどで、学校区内の児童を対象にした学童クラブ事業や、コミュニティスクールとしての利用が、これからの課題となっています。

学校で利用する部分、地域が利用する部分、学校と地域が共同利用する部分に分類し、学校のセキュリティの確保を前提に、学校施設への地域利用施設の複合化の検討も必要とされます。

また、学校プールなどの施設については、適正な配置や管理運営体制のあり方について検討し、地域での利用も含めた有効活用の方法を考えていくことも必要です。

ウ 今後の方針とスケジュール

公共施設等総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性」、「施設の必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証し、分析・評価を行いました。また、分析・評価を踏まえて、施設の対応方針を定めました。これらの内容は次のとおりです。(分析・評価結果は資料編を参照)。

【基本的な考え方】

- 児童生徒数及び学級数の推移を精査し、子どもたちの教育環境の向上及び社会性の確保の観点から、学校再編計画(R1策定)に基づく適正規模、適正配置を推進します。
- 今後も学校施設として継続する施設で、新耐震基準で建設した建物は、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。旧耐震基準で建設した建物は、大規模改修による費用と適正な規模での建替にかかる費用を比較検証したうえで、将来にわたるライフサイクルコストを精査し、長寿命化の工事を行うか、建替を行うか検討します。
- 統合に伴い廃校舎となる施設は、他用途での使用や地域・民間活用の可能性など、他の遊休施設を含めた利活用方針を策定し、サウンディング型市場調査等の手法を駆使して、総合的に活用策を検討します。
- 学校が地域コミュニティの拠点であるとの位置付けを踏まえ、教室の利用実態を精査し、学校経営に支障の無い範囲で、セキュリティ対策など必要な対策を講じて、周辺の地域利用施設(地区センターなど)との複合化を検討します。
- 管理委託業務の発注方式を見直し、効率的に運営します。

【個別施設ごとの対応方針】

学2 湯沢西小学校

学4 三関小学校

学5 須川小学校

- 学校再編計画に基づき、令和3年度に三関小学校と須川小学校を湯沢西小学校へ統合します。
- 湯沢西小学校の校舎は平成19年に新耐震基準で建設した建物であることから、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 統合に伴い廃校舎となる施設等の利活用については、他用途での使用や地域・民間活用の可能性など総合的に活用策を検討します。

学6 稲庭小学校

学7 三梨小学校

学8 川連小学校

学9 駒形小学校

- 学校再編計画に基づき、令和4年度に稲川地域の4小学校を統合します。
- 建物は川連小学校を使用し、統合校を新設します。川連小学校の校舎は平成13年に新耐震基準で建設した建物であることから、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 統合に伴い廃校舎となる施設等の利活用については、他用途での使用や地域・民間活用の可能性など総合的に活用策を検討します。

● 全小中学校

- 子どもたちの教育環境の向上及び社会性の確保の観点から、学校再編計画に基づき、今後も引き続き適正規模、適正配置について検討します。
- 今後も学校施設として継続する施設で、新耐震基準で建設した建物は、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。旧耐震基準で建設した建物は、大規模改修による費用と適正な規模での建替にかかる費用を比較検証したうえで、将来にわたるライフサイクルコストを精査し、長寿命化の工事を行うか、建替を行うか検討します。

【年度別スケジュール】

項目	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 ~ 2030年度 (R7) (R12)
全小中学校	----->		適正規模・適正配置の検討		----->	
	学校長寿命化計画を参考に 予防保全計画の策定		計画に基づき、 長寿命化か建替かを検討		検討結果に基づく対応	
	教室の利用実態の調査 複合化など活用策の検討		検討結果に基づき、複合化等による有効活用、必要に応じた改修		----->	
	業務発注方式の見直し		見直し結果に基づく対応		----->	
湯沢西小学校	環境整備	● 統合				
三関小学校 須川小学校	統合準備		利活用方法の検討		検討結果に基づく対応	

項目	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度～2030年度 (R7)～(R12)
稲川統合小学校 (建物：川連小学校)	環境整備	→	● 統合			
稲庭小学校 三梨小学校 川連小学校 駒形小学校	統合準備		↑	利活用方法の検討 (稲庭・三梨・駒形小)	→	検討結果に基づく対応

エ 概算事業費と効果額

単位：千円

施設 No.	施設名称	今後の 方向性		更新費用の試算（40年間：令和2～41年度）					維持管理費		
		建物	長寿 命化	現状維持した場合			本計画を実施した場合		単年度の比較		
				大規模改修	建替	合計	長寿命化等 大規模改修	建替	合計	現状維持	計画実施
学1	湯沢東小学校	継続	●	1,652,939	0	1,652,939	2,479,408	0	2,479,408	28,813	28,813
学2	湯沢西小学校	継続	●	1,576,583	0	1,576,583	2,364,875	0	2,364,875	30,445	30,445
学3	山田小学校	継続	●	983,697	1,909,529	2,893,225	1,475,545	0	1,475,545	24,564	24,564
学4	三関小学校	検討		774,709	1,503,846	2,278,555	0	0	0	18,600	18,600
学5	須川小学校	検討		582,208	1,130,168	1,712,375	0	0	0	22,894	22,894
学6	稲庭小学校	検討		597,348	1,159,557	1,756,905	0	0	0	20,680	20,680
学7	三梨小学校	検討		551,818	1,071,177	1,622,995	0	0	0	18,781	18,781
学8	川連小学校	継続	●	1,027,788	0	1,027,788	1,541,682	0	1,541,682	24,003	24,003
学9	駒形小学校	検討		657,409	1,276,146	1,933,555	0	0	0	18,167	18,167
学10	雄勝小学校	継続	●	683,985	0	683,985	1,025,977	0	1,025,977	23,896	23,896
学11	皆瀬小学校	継続	●	821,998	0	821,998	1,232,996	0	1,232,996	24,574	24,574
学12	湯沢北中学校	継続	●	1,514,190	0	1,514,190	2,271,285	0	2,271,285	28,950	28,950
学13	湯沢南中学校	検討	●	1,129,963	2,193,457	3,323,420	1,129,963	2,193,457	3,323,420	27,778	27,778
学14	山田中学校	検討	●	695,014	1,349,146	2,044,160	1,042,522	1,349,146	2,391,667	21,427	21,427
学15	稲川中学校	検討	●	0	2,131,767	2,131,767	1,647,275	2,131,767	3,779,042	27,056	27,056
学16	雄勝中学校	検討	●	0	2,856,797	2,856,797	1,471,683	2,856,797	4,328,480	27,529	27,529
学17	皆瀬中学校	検討	●	0	1,587,561	1,587,561	1,226,751	1,587,561	2,814,312	17,011	17,011
概算事業費（合計）				13,249,647	18,169,150	① 31,418,797	18,909,962	10,118,727	② 29,028,689	③ 405,168	④ 405,168

更新費用の試算比較 ②－①	単年度の維持管理費の比較 ④－③
△ 2,390,108 千円	0 千円

※ 更新費用は、本計画策定年度の令和2年度から起算して40年間に必要となる大規模改修費用及び建替費用の試算額です。

大規模改修費用：17万円/m²、更新（建替）費用：33万円/m²（総務省が提供する単価）

※ 維持管理費は、直近（平成30年度）の施設維持管理に係る年間の支出額です。

※ 端数処理の関係上、合計と一致しない場合があります。